

第160期 年度報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

証券コード 4613

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年度はコロナ禍の収束により社会・経済活動の正常化が進みました。一方で、ロシア・ウクライナ、中東における地政学リスクのさらなる拡大や、多くの自然災害に見舞われました。そのような中、当社は2022年度からスタートした第17次中期経営計画において、成長戦略「Good to Great」で掲げている持続的成長サイクルへの転換を果たすべく、構造改革と事業ポートフォリオの改善を進めてまいりました。

当社の創業者である岩井勝次郎は「利益追求と社会発展への貢献」という言葉を残しております。これはESG経営そのものであり、私たちは創業の精神に立ち返り、塗料のプロフェッショナルとして社会への貢献を続けてまいります。

当社グループの当連結会計年度における売上高は5,622億77百万円(前期比10.5%増)となりました。営業利益は、人件費等の固定費の増加があったものの、原価低減や販売価格の改善などに取り組んだ結果、515億95百万円(前期比60.8%増)となりました。経常利益は超インフレ会計による正味貨幣持高に係る損失の計上があったものの、持分法による投資利益の増加や為替差益などにより、576億85百万円(前期比43.4%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益やインドの土地売却や本社事務所の売却に伴う固定資産売却益を計上したことなどにより、671億9百万円(前期比166.4%増)となりました。

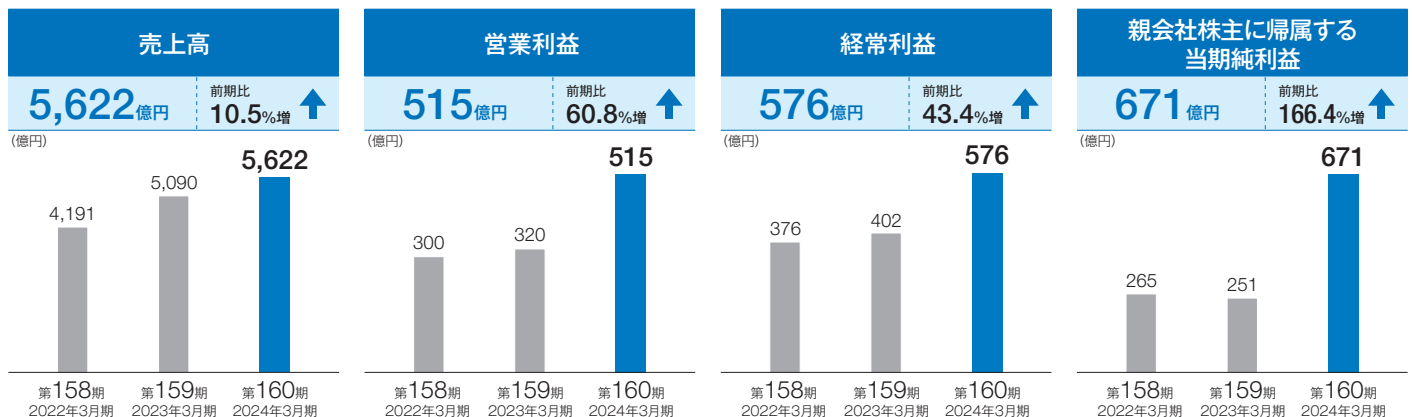
以上の業績から、当事業年度の年間配当金につきましては、1株につき40円(中間配当金18円を含む)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 毛利訓士



決算ハイライト



さらに詳しい財務情報は、
当社IRサイトをご覧ください。

<https://www.kansai.co.jp/ir/>



SEGMENT OVERVIEW

地域別セグメント業績の概況

日本 Japan

[売上高] 1,653億1百万円 前期比 8.4%増 ↑

自動車分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上高は前年を上回りました。工業分野、建築分野、自動車分野(補修用)及び防食分野では、市況は低調に推移するものの販売価格の改善に取り組んだことなどからトータルで売上高は前年を上回りました。船舶分野では、外航船修繕向けの数量増加や船舶用塗料の販売子会社の決算日変更の影響などにより売上は前年を上回りました。利益は、一部の原材料価格が低下してきたことに加え、販売価格の改善に取り組んだことなどから前年を上回りました。

これらの結果、売上高は1,653億1百万円(前期比8.4%増)、セグメント利益は214億51百万円(前期比61.5%増)となりました。

売上高比率 **29.4%**

第159期	第160期
152,508	165,301

第159期	第160期
13,285	21,451

アジア Asia

[売上高] 718億76百万円 前期比 5.6%増 ↑

中国においては、自動車生産台数は前年を上回ったものの主要顧客の需要は伸び悩み、売上高は前年を下回りました。タイ及びインドネシアにおいては、自動車生産が落ち込むものの、販売価格の改善の取り組みにより、売上高は前年を上回りました。マレーシアにおいては、自動車生産は堅調に推移し、売上高は前年を上回りました。利益は一部の原材料価格が低下してきたことに加え、持分法による投資利益が増加したことにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は718億76百万円(前期比5.6%増)、セグメント利益は105億48百万円(前期比43.6%増)となりました。

売上高比率 **12.8%**

第159期	第160期
68,070	71,876

第159期	第160期
7,344	10,548

インド India

[売上高] 1,366億48百万円 前期比 7.1%増 ↑

建築分野では販売促進活動を推進するものの、市場競争の激化やインフレ影響により低価格品へのシフトも進み、売上高は前年並みとなりました。一方、自動車生産は安定しており販売価格の改善も寄与し、インド全体の売上高は前年を上回りました。利益は一部の原材料価格が低下してきたことに加え、販売価格の改善に継続して取り組んだことなどから前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,366億48百万円(前期比7.1%増)、セグメント利益は148億7百万円(前期比34.8%増)となりました。

売上高比率 **24.3%**

第159期	第160期
127,544	136,648

第159期	第160期
10,987	14,807

アフリカ Africa

[売上高] 433億38百万円 前期比 3.6%増 ↑

南アフリカ及び近隣諸国の経済は慢性的な電力不足や物価高などの影響で回復が遅れており需要が低迷するなか、主力の建築分野での販売価格改善の取り組みや、工業分野の需要の取り込みなどに注力しましたが、売上高は前年並みとなりました。東アフリカ地域においては、建築分野において拡販に注力したほか、販売価格改善の取り組みにより、売上は前年を上回り、アフリカ全体の売上は前年を上回りました。利益は安価品原材料への置換などコスト削減に取り組んだことにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は433億38百万円(前期比3.6%増)、セグメント利益は40億77百万円(前期比49.7%増)となりました。

売上高比率 **7.7%**

第159期	第160期
41,831	43,338

第159期	第160期
2,724	4,077

欧州 Europe

[売上高] 1,359億2百万円 前期比 21.3%増 ↑

トルコでは、自動車生産台数が前年を上回り、販売価格の改善に取り組んだこともあり、売上高は前年を上回りました。その他欧州各国においては、主力の工業分野の売上高が堅調に推移したことに加え、新規連結したCWSグループの売上高も寄与し、売上高は前年を上回り、欧州全体としても前年を上回りました。利益はインフレの影響による人件費等のコストの増加があったものの、販売価格の改善に加え一部の原材料価格とエネルギーコストの低下により、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,359億2百万円(前期比21.3%増)、セグメント利益は50億68百万円(前期比154.5%増)となりました。

売上高比率 **24.2%**

第159期	第160期
112,070	135,902

第159期	第160期
1,991	5,068

その他 Others

[売上高] 92億10百万円 前期比 30.7%増 ↑

北米では、自動車生産台数が前年を上回り、売上高は前年を上回りました。利益については、売上高の増加や販売価格の改善に伴い営業利益が改善したほか、持分法による投資利益も増加したことなどにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は92億10百万円(前期比30.7%増)、セグメント利益は32億97百万円(前期比139.9%増)となりました。

売上高比率 **1.6%**

第159期	第160期
7,045	9,210

第159期	第160期
1,374	3,297

(注) 各セグメント利益につき、前連結会計年度まで経常利益を記載しておりましたが、当連結会計年度よりセグメント利益(営業利益+持分法投資利益)で記載しております。この変更に伴い、前年通期のセグメントの利益も同様に置き換えて記載しております。

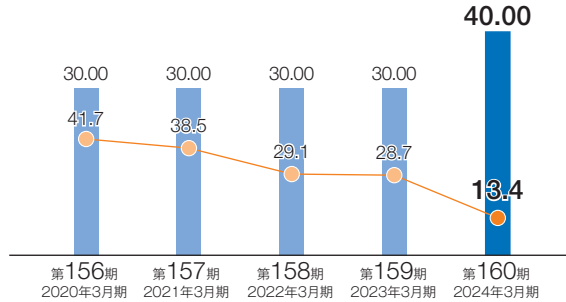
株主還元について

当社は、企業体質の強化を通じて収益力の向上を図り、株主の皆様に対し配当を安定的・継続的に実施することを考慮しながら、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

当事業年度の年間配当金につきましては、1株につき40.00円(中間配当金18.00円を含む)とさせていただきます。

○配当金・配当性向

■ 配当金(円) ● 配当性向(%)



会社概要 (2024年3月31日現在)

創 立 1918年5月17日

資 本 金 25,658百万円

主 要 な 事業内容 塗料及び塗料関連製品とこれらに関する機器装置類の製造、販売、設計及び塗装の監理等

従 業 員 数 1,566名
(従業員数は就業人員であり、当社外への出向者を含んでおりません。)

●グローバル本社
〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目13番1号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス 28階
【事業所】 鹿沼、東京、平塚、名古屋、尼崎、小野、北九州
【開発センター】 平塚

株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 793,496,000株
発行済株式の総数 210,421,470株
株主数 18,102名
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,211	14.83
日本生命保険相互会社	12,490	5.93
第一生命保険株式会社	12,485	5.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,891	4.70
JP MORGAN CHASE BANK 380055	8,511	4.04
関西ペイント交友持株会	4,304	2.04
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,233	2.01
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	4,086	1.94
東京海上日動火災保険株式会社	3,136	1.49
株式会社三菱UFJ銀行	2,859	1.35

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。
2. 持株比率は、自己株式(191株)を除いて算出しております。
3. 当社は2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、2023年6月30日付で34,000,000株の自己株式を消却いたしました。また、当社は2024年3月22日開催の取締役会決議に基づき、2024年3月29日付で28,201,800株の自己株式を消却いたしました。これに伴い、発行済株式の総数は、210,421,470株となりました。

統合報告書を発行いたしました。当社の持続可能な価値創造に向けた方針と取り組みについてご覧いただけます。下記URLをご覧ください。
<https://www.kansai.co.jp/sustainability/library/>



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777(通話料無料)
平日9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)

公 告 方 法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL (<https://www.kansai.co.jp/>)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 プライム市場

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、株主様の口座のある証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

期末配当金のお支払について

第160期期末配当金は2024年6月28日からお支払いいたしますので、同封の「期末配当金領収証」により、最寄のゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行口座へ振込ご指定の方には、「期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」を同封いたしましたので、お確かめください。

単元未満株式の買取請求または買増請求について

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有されている株主様は、この買取請求(ご売却)または単元株式までの不足分の買増請求(ご購入)により、単元未満株式を整理することができます。詳細は、株主様の口座のある証券会社にお問合せください。なお、特別口座に記録された株式につきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。



最新のIRニュースや適時開示情報等を、
ご登録のメールアドレスにお送りいたします。

